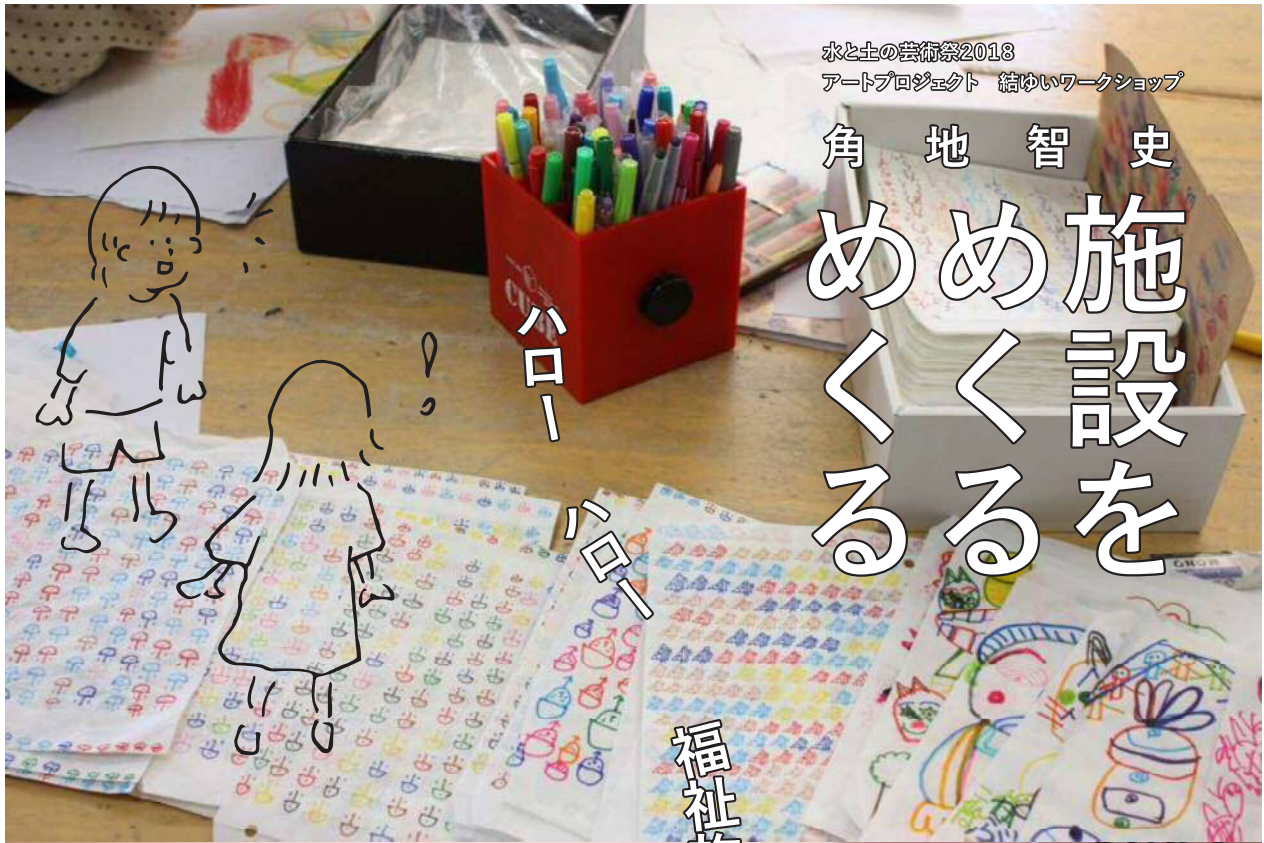


水と土の芸術祭2018
アートプロジェクト 結びいワークショップ

角地智史

めめ施設を めくるるるる



福祉施設に行こう



2018年8月6日(月)・9月10日(月)

[行先] 青松ワークス

2018年8月25日(土)・9月24日(月)

[行先] みのり園

主催:水と土の芸術祭2018実行委員会 共催:ゆいぼと(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)

申込み方法など
詳細は裏面へ

角地智史

めめ施 くく設 るるを

ハロー ハロー

福祉施設に行ってみよう

水と土の芸術祭 2018 で、障がいとアートに関するプロジェクトを行う角地智史と一緒に福祉施設を訪れ、福祉の魅力に触れるワークショップを行います。今回、新潟市内にある福祉施設「青松ワークス」と、「みのり園」に行く機会を設けました。普段は福祉施設に行く機会がないけれど、福祉や障がいに興味がある人たちで、施設の中にある気になるものや風景を見つめます。



2018年8月6日(月)・9月10日(月)

[行先] 青松ワークス(新潟市西区上新栄町1丁目2-12)

2018年8月25日(土)・9月24日(月)

[行先] みのり園(新潟市西区藤野木51)

集合 ▶ みずつちシャトル便
サテライト会場バス停前

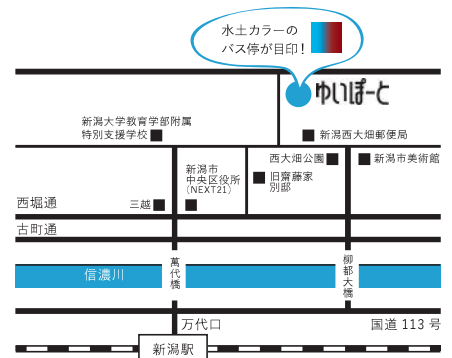
(ゆいぽーと内:新潟市中央区二葉町2丁目5932-7)

12:30集合 17:00解散予定

対 象 福祉に興味がある人ならどなたでも
(小学生以下は保護者1名同伴)

定 員 各日5名まで
※参加費無料

各日
要予約



角地智史 1989年生まれ、石川県出身。新潟大学工学部卒。アートキャンプ新潟で、障がいある人の創作活動を支える活動を展開。2016年に「アナタにツナガル」展(新潟市美術館)に参加。知的障がいがあり、花の写真を好んで撮る田中仁とのやりとりを作品化する。新潟県アール・ブリュット・サポート・センター NASCのアート・ディレクターとして、障がいのある人の創作活動をサポートすると共に、作家活動を行う。

施設をめぐるめぐる お申し込み方法

◆Webでのお申し込み

水と土の芸術祭2018公式ホームページ、またはQRコードより「新潟市かんたん申し込み」にアクセス。必要事項を入力し、お申し込みください。

スマートフォンはこちらにアクセス!



◆FAXでのお申し込み

「施設をめぐるめぐる」と明記の上、①お名前②住所③生年月日④電話番号⑤FAX番号⑥参加希望日を記入し、水と土の芸術祭2018実行委員会事務局までお申し込みください。

※定員が上回った場合、当選の有無にかかわらず、メールもしくはお電話にて通知します。
※FAXでのお申し込みは、①～⑥の項目を必ずご記入ください。記載項目に不足がある場合、申込の受付ができませんのでご注意ください。

関連イベント

みずつち座談会 第3回

「障がいとアートの話 一面倒と寛容の中で生まれること」

出演:角地 智史と福祉とアートに関わる人たち
ファシリテーター:吉野 さくら(コマタク)

2018年9月1日(土)14:00-16:00

ゆいぽーと2階 コミュニティスペース

先着20名まで(定員なり次第受付終了)

※要申込 参加費無料

※みずつち座談会をご希望の方は、水と土の芸術祭2018公式ホームページより申込方法をご確認ください。FAXの場合は、「障がいとアートの話」と明記いただき、左記と同じ項目を記載の上、お申し込みください。



お問い合わせ

水と土の芸術祭2018実行委員会事務局(新潟市文化創造推進課内)

TEL:025-226-2625 FAX:025-226-0050 E-mail: info@mizu-tsuchi.jp HP:http://2018.mizu-tsuchi.jp/

